

第1学年 道徳学習指導案

平成29年6月8日（木）第5校時

- 1 主題名 かけがえのない命を尊重する 内容項目 [D 生命の尊重]
- 2 ねらい ペットの死を通して生命の有限さに気づかせ、今ある自他の命を尊重する態度を育てる。

資料名 「神様からの贈り物」（出典「心つないで」教育出版）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

「生命」は、かけがえのないものであり、決して軽々しく扱ってはならない。生命を尊重するということは、自分の命は当然ながら、他の人間、生き物、植物等全ての命あるものを大切にするということである。中学生段階では、健康に過ごせることが当たり前だと考え、死が身近なものであるということを認識しておらず、自分の生命でさえ軽く考えてしまう生徒も少なくない。そのため、危機意識が低かったり、周りの人を平気で傷つけてしまったりする。だからこそ、生命の気高さや有限さを知ること、自他の生命を尊重し、日々の生活における全ての物事がかけがえのないものであるということに気づくことができる。1年生での指導に当たっては、ペットの命を通して生命の強さとはかなさに迫りたい。中学生段階では、「生命は大切にしなければならない」ということは理解している。しかし、今当たり前前にそばにいる家族や友人、ペットの動物などの命にも限りがあり、いつ別れがやってきてもおかしくはないということを忘れてしまいがちである。自分自身と周囲の人や動植物の生命に目を向け、「生きている」ということのパワーを感じ、生命を大切にしようと考えていく態度を育てたい。

(2) 生徒のこれまでの学習状況及び実態について

本校は緑が溢れ、生徒は豊かな環境の中で日々生活を送っている。本学級の生徒は、元気で活発な生徒、静かで穏やかな生徒等、様々な個性をもっている。教室や廊下にある草花の世話を積極的に行う生徒や、花に新しい芽が出てきたことを喜んで報告してくる心温かな生徒もいる。理科の生物分野では植物のつくりについて学び、ひとつの生命にさまざまな仕組みがあることを学んできた。しかし、日々の生活の中で、心ない言葉や命を粗末に扱うような言動がみられ、友人とのふざけ合いから人を傷つけてしまう場面もあった。「生命は大切にしなければならないもの」と理解しているながらも、行動には結びつかず、相反するような言動をとってしまう生徒もいる。「生命の尊重」という題材を扱うことで、「生命」というものは有限であり、たった一つしかないかけがえのないものだとすることを深く考えさせたい。当たり前前にそばにいる友人、家族、動植物、そして自分自身など、すべてのものを大切にしなければならないということに気づかせたい。

事前のアンケート結果は以下の通りである。

(平成 29 年 5 月 19 日実施)

- ① あなたは、生命とはどんなものだと考えていますか。
 - ・ 生きているものに一つだけあるもの
 - ・ 一番大切なもの
 - ・ 簡単に手放してはいけない
 - ・ お金では買えないもの
 - ・ 奪ったり、奪われたりしたくないもの
 - ・ 神がさずけたもの
- ② あなたの身近にはどんな命がありますか？
人 動物 植物 自分 家族 友達 兄弟 ペット
- ③ あなたが「命を大事にしなければならない」と思うときはどんな時ですか。
 - ・ 身近な人に何かがあった時
 - ・ 自転車で転んで死ぬかと思った時
 - ・ 肉料理をいただく時
 - ・ 人や動物が亡くなった時
 - ・ 親が心配してくれた時
 - ・ 赤ちゃんが生まれた時
 - ・ ニュースを見た時 (人が亡くなった、自殺、事件事故、病気、いじめ)
- ④ あなたはペットを飼っていますか。または、飼っていましたか。
飼っている 25 名
飼っていない 8 名
- ⑤ ペットとの思い出のエピソードを教えてください。
 - ・ 11 年間世話をした猫が亡くなった。
 - ・ 指を前に出すとインコはぴよんと飛び乗ってくれた。
 - ・ 一人でいたときに猫が隣に座った。
 - ・ 飼っていた犬が自分より大きくなった。
 - ・ 猫の出産を手伝った。
 - ・ 犬と一緒に犬小屋に入っていた。
 - ・ 遊びに行ったら猫がついてきて溝に落ちて自分が怒られた。
 - ・ 犬にきつく当たったことがあったが、それでも優しく近づいてきた。

アンケートから、ほぼすべての生徒が「生命は軽んじてはいけないものだ」、「生命は尊いものだ」という認識をもっていることが分かった。また、ニュース等でいじめが原因で自殺をする子どもがいること、事件や事故で亡くなる人がいることを知り、自分自身の生命を大切にしなければならないという気持ちをもっていることが把握できる。生徒自身も持っているペットとの温かな思い出を学級全体で共有し、生命について深く考えることで、自分だけでなく、身近な生命を大切にしようとする態度の育成を目指す。

(3) 資料の特質や活用方法について

本資料は、ペットの死を扱ったものである。長く飼っていた犬のクンちゃんが「乳がん」だと診断され、苦しむクンちゃんのことを思い、家族は安楽死を決断する。しかし、懸命に生きようとするクンちゃんの姿を見て、安楽死を取りやめ、最期をみとることとなる。クンちゃんの生きようとする姿勢は、「まだ生きられるのに死なせるのはやめてほしい」と言っているようにも見え、生命の強さを感じる。生徒の心に生命の気高さや尊さを深く理解させるために、以下の点を生徒

に考えさせて資料を活用していきたい。

- ① 飼い主がクンちゃんを安楽死させようと決断したときの心情を押さえる。

安楽死を決断したときの飼い主は、クンちゃんの苦しむ姿を見て、「早く楽にしてあげよう」という気持ちをもっている。飼い主が家族であるクンちゃんのことを思っただけの決断だということを確認する必要がある。

- ② 飼い主がクンちゃんの安楽死を取りやめた時の心情を押さえる。

安楽死が重大な決断であったにもかかわらず、それをやめようと心が動いた理由を考えさせる。弱っていたクンちゃんが立ち上がり、歩くという行動が飼い主の目にどのように映ったのかを考えさせたい。

- ③ 「神様からの贈り物」とはどういうことなのかを考えさせる。

題材名である「神様からの贈り物」は本文の最後の部分に飼い主がクンちゃんについて述べている言葉である。生徒には、「クンちゃんが家族として楽しい思い出を作ってくれた」ということだけでなく、クンちゃんの生命から飼い主が学んだことについて深く考えさせたい。命の気高さや有限さに気づかせる場面として扱っていきたい。

以上の理由から、本主題を設定した。

4 学習指導過程

| 段階 | 学習活動（主な発問） | 予想される生徒の反応 | ・指導上の留意点 ☆評価の観点 |
|----|---|---|---|
| 導入 | 1 ペットを飼っている生徒のエピソードを聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・かわいい。 ・家では餌をあげる係だ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料の内容に興味関心をもたせる。 ・写真やぬいぐるみ等の具体物を提示することで、ペットを飼っていない生徒にも興味をもたせる。 ・「命は大切なものである」という認識を全員がもっていることを確認する。 |
| | 2 事前指導のアンケート結果を聞く。 | | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">なぜ命は大切なのだろうか？</div> | | |
| | 3 資料の状況を説明する。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・クンちゃんは17才であり、とても長生きをしていたということをおさえる。 ・飼い主である筆者がとてもよく世話をしていたことを確認する。 |
| | (補助発問) 自分の飼っているペットに病気が見つかったらどんな気持ちになるだろうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・悲しい。 ・すごくショックで何をしたらよいかわからない。 ・死んでしまうのはいやだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・もう助からないであろう状況を確認し、飼い主としてどんな気持ちになるかを考えさせる。 |

| | | | |
|--------|---|---|--|
| 展 開 | <p>4 資料を読んで話し合う。</p> <p>(1) 飼い主はどんな気持ちから安楽死をさせようと思ったのだろうか。</p> <p>(補助発問)</p> <p>あなたがこの飼い主だったら、どんな気持ちになっているだろうか。</p> <p>(2) 飼い主はなぜ安楽死をやめたのだろうか。</p> <p>(3) 【北中シェアタイム】 グループで話し合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・クンちゃんの苦しむ姿を見ていたくない。 ・早く楽にしてあげたい。 ・長く生きてほしいけれど、苦しんでいるのはかわいそう。 ・早く楽にしてあげたいが、クンちゃんが生きようとしているから迷う。 ・クンちゃんが生きてがっているから。 ・クンちゃんの命が尽きるまで生かしてあげたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・安楽死をさせなければ苦しみが続き、安楽死をさせれば命を絶ってしまうということを理解させる。 ・飼い主の心の葛藤を考えさせる。 ・生命は単純なものではなく、よく考えなければならぬものであることを押さえる。 ・クンちゃんのために安楽死をさせようとして決断したにも関わらず、翌日に取りやめた心の動きに注目させる。 ☆死にそうな状態でも必死に生きようとするクンちゃんの様子から生命の尊さを理解できたか。 |
| | <p>「神様の贈り物」とはどのようなものなのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人の少人数グループで意見を交換し、出てきた意見をホワイトボードにまとめる。 ・書いたホワイトボードを黒板に貼る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・命は人が勝手に決めてはいけないもの。 ・クンちゃんとのかけがえのない思い出。 ・クンちゃんの死で命の大切さを学んだということ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・クンちゃんと飼い主の出会いで、神様が何を伝えたかったのかを考えさせる。 ・グループで出てきた意見と自分の考えを照らし合わせ考えの違いに気づかせる。 ・それぞれの生徒の多様な意見を尊重する。 ・生徒それぞれの意見を簡潔にまとめ書かせる。 ☆生命はかけがえのないものであるということが理解できたか。 |

| | | | |
|----|-----------------------------------|--|--|
| 終末 | 5 今日のテーマを振り返り、新たに気付いたことを道徳ノートに書く。 | | ・グループでの話し合いを生かして、テーマについて考えたことを書かせる。 |
| | 6 教師の説話を聞く。 | | ・生徒にとって遠い話ではなく、考えるべきとても身近なテーマであることを示す。 |

5 他の教育活動との関連

| | |
|--------|---|
| 事前指導 | 帰りの会で「命についてのアンケート」を実施し、生徒が命についてどのように考えているか意識調査を行う。また、そのアンケートでペットを飼っているかどうかを調査し、ペットとの思い出を書かせる。 |
| 本時の学習 | ・資料名「神様からの贈り物」 生命の有限さに気づかせ、今ある自他の命を尊重する態度を育てる。 |
| 事後指導 | 帰りの会で教室や廊下の草花について触れ、様々なものに命があることに目を向けるよう伝える。 |
| 家庭との連携 | 本時の授業内容や生徒の感想を学級通信で紹介し、家庭でも生命の大切さを話題にしよう。 |

6 評価の観点

<生徒の学習状況の評価>

- ・生命が有限であることや強い力をもっていることを理解することができたか。

<生徒の道徳性に係る成長の様子の評価>

- ・生命を大切にしようとする意欲が高まったか。

7 板書計画

| | | | | | | |
|--|------------------------------------|---|---|---|--|--|
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div> <p style="text-align: center;">各グループ の考え</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div> | <p>神様の贈り物とは どのようなものなのだろうか？</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・生きたがっているから ・できるだけ生かしたい <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">安楽死を取りやめる</div> | <ul style="list-style-type: none"> ・苦しむ姿を見たくない ・早く楽にしてあげたい <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">安楽死</div> | <p>立ち上がり歩く</p> <p>←</p> <p>クンちゃん がんが見つかり助からない</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ペットの写真</div> <ul style="list-style-type: none"> ・かわいい ・餌やり係 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「神様からの贈り物」</div> <p>なぜ命は大切なのだろうか？</p> |
|--|------------------------------------|---|---|---|--|--|